

今年、理科が大好きな5年生の子どもたちによる26点もの力作が集まりました。全体的な傾向としては、自ら気になる題材を見つけて、粘り強く継続的に取り組んだ作品・研究が多くありました。

中でも、第四小学校の中村さんの研究「ほくろのピカピカ宝石さがし」は、興味を持った宝石に対して積極的にアプローチし、宝石の採取や種類の分別といった活動から、気付きふりかえりまで興味を持って楽しく取り組み成し遂げる姿が伝わってくる素敵な作品でした。

また、中川小学校の今西さんの研究「いん石回ひゲーム」は、自分のや、てみたいゲームを手作りで見事に具現化した力作でした。本年度も理科好きの子どもたちが意欲的に研究する姿が見られ、うれしく思いました。その思いを考察やまとめにし、かりと書けば、さらに良い作品となるでしょう。これからも探究心あふれる研究に取り組む子どもたちが増えることを期待しています。